

現場中心での 保守コスト大幅削減アプローチのお勧め



2019年2月 システム企画研修株式会社

ソフトウェア保守業務は本格的に取り組めば、
そのコストが半減できることが **実証** されました！

ニコンシステム殿が「**3年でコスト半減**」を実現されたのです。



そこで、御社でもコスト半減に挑戦されませんか？
現場中心の活動によってそれを実現するのです。

現場が明るく前向きになる大きな効果 も **実現** できます！！



ソフトウェア保守業務の改善・改革に10年間真剣に取り組んできた弊社は

▼ ▼ 皆様に以下のアプローチをお勧めします。 ▼ ▼

そのアプローチの骨子は以下のとおりです。



1. このアプローチのねらいは、コストダウンと現場の活性化です。
2. グループまたは個人の自治によって保守業務の改善を進めます。
3. 改善対象の保守業務の範囲は、全社、特定事業部門、特定グループなど自由に設定いただけます。
4. 改善成果を定量的に把握できる業務の生産性把握手法（「SW法」）を使用します。
5. その手法でコスト削減効果を把握します。
6. 実現した改善成果については、当事者にも還元することを想定します。
7. グループでの改善に対しては、12件の推奨テーマに対する改善方法ガイドをご提示します。
8. 個人の改善に対しては、定評ある「身の回りの業務改善手法」をガイドします。
9. このコスト削減アプローチは3年以上続けられることを想定します。
10. 弊社は、着手金と「SW法」利用支援のサービス対価をいただきます。
ご要望があれば、ご提供ガイドを利用しての改善のご支援をします。
11. 弊社は、実現できたコスト削減に対して成功報酬をいただきます。

現場中心での 保守コスト大幅削減アプローチのお勧め



1 このアプローチのねらいは、コストダウンと職場の活性化です。

(1) コストダウン

- 原則として、業務系システム（エンタプライズ系システム）のソフトウェア保守業務（エンハンス業務、変更管理業務とも言います）の改善を実施することによって、そのコストダウンを実現します。
- そのコストダウンは、数年で半減することを目標とします。

(2) 職場の活性化

- 閉鎖的で前向きでない職場を、改善指向・発展指向の職場に変革します。
- 自分たちの改善が、会社の業績向上につながり、自分たちの待遇改善にもつながることを実感することによって、それを実現します。

2 グループまたは個人の自治によって保守業務の改善を進めます。

(1) 改善テーマや改善手法は自分たちの判断・創意によって実現いただきます。

- 自分たちで考えることが、職場の活性化につながります。

(2) 改善は、グループ単位または個人単位で実施していただきます。

- グループ単位が好ましいのですが、それが困難な環境の場合は、個人単位で改善活動をしていただきます。

3 改善対象の保守業務の範囲は、全社、特定事業部門、特定グループなど自由に設定いただきます。

- 当面は特定グループで始めて、次第に全社に展開するなど、ご検討ください。

4 改善成果を定量的に把握できる業務の生産性把握手法（「SW法」）を使用します。

(1) 改善を実施した結果の改善成果がどれだけであるかを定量的に把握する手法を利用します。

- 「改善した」では自己満足で、どれだけ経営に貢献したかが不明では改善意欲の継続が困難です。

(2) 使用する手法は「SW法」です。

- この手法は、「SW式見積り手法」をベースにしているもので、保守案件を対象とする「変更規模」を生産量として利用します。
- その生産量をどれだけの工数で処理したかを生産性として把握し、その生産性の改善値を測定することによって、改善成果を把握することができます。

$$\bullet \text{ 保守案件の変更規模ポイント} = \text{保守案件の生産量}$$

$$\bullet \text{ 1 変更規模ポイント当たりの投入工数} = \text{保守案件の生産性}$$

注：ここでの生産性は一般的に言う生産性の逆数です。

この数値が大きい方が生産性が低い。



5 その手法でコスト削減効果を把握します。

(1) 「SW法」によるコスト削減金額の算定方法

- ・ (改善前の生産性－改善後の生産性) × 1 か月の改善手法による生産量 (工数) × 工数単価
- ・ ここで言う生産性は、SW式見積り手法の「工数換算係数」を指し、1 生産量当たりどれだけの工数を要するかを示すもので、一般的な生産性の逆数です。

(2) この削減金額 (改善金額) は、随時算定が可能です。

- ・ 改善前の数値をどうおくかで、当該期間の改善金額の把握ができます。

6 実現した改善成果については、当事者にも還元することを想定します。

(1) 改善成果のコストダウン効果は金額で明確に測定できますので、その効果の一部を改善当事者に還元することが公平です。

- ・ この還元は、改善実施の大きなインセンティブになります。

7 グループでの改善に対して弊社は、以下の推奨テーマに対する改善方法ガイドをご提示します。

(1) マネジメント系の改善手法

各社での実施手法を集大成した以下のガイドをご提供します。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1) 案件の選別と強化 | 5) 変更処理プロセスの見える化 |
| 2) 業務実態の見える化 | 6) 変更管理業務の生産性把握 |
| 3) ドキュメント整備 | 7) 一貫生産型への移行・インソース化 |
| 4) システム関係の見える化 | 8) システムの順次再構築 |

(2) プロセス系改善手法

数社の「アライアンス」で開発した以下の手法をご提供します。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1) SW式見積り手法 | 4) 変更仕様定義手法 |
| 2) 要件定義手法 | 5) テスト手法 (一部有償) |
| 3) 影響調査手法 (一部有償) | |

8 個人の改善に対しては、定評ある「身の回りの業務改善手法」をガイドします。

(1) 「身の回りの業務改善手法」は保守業務の担当が個人単位で自分の担当業務を改善する手法です。

- ・ この手法の研修テキストが提供されます。
- ・ 研修を実施することも可能です (有償)。

(2) 少し努力して改善を実施すると業務遂行が楽になり、さらに改善を行う好循環を実現します。

現場中心での 保守コスト大幅削減アプローチのお勧め



9 このコスト削減アプローチは3年以上続けられることを想定します。

- 大きな改善成果を実現するには3年以上継続される必要があります。

10 弊社のいただくサービス料金は以下のとおりです。

- 着手金を50万円だけいただきます。
- 「SW法」利用支援のサービス対価をいただきます。
 - 「SW法」利用の前提となる「工数換算係数」の設定支援が、1システム50万円です。
- ご要望があれば、ご提供ガイドを利用しての改善のご支援をします。
 - 個別にご相談させていただきます。

11 弊社は、実現できたコスト削減に対して成功報酬をいただきます。

改善対象範囲のコスト削減の実現対応で以下の報酬をいただきます。	
改善着手前に対するその計算期間の実現効果の	5%

